

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 「外国人支援」を受けた海外生活

松江市観光振興部国際観光課 椋本 奈美子

### 英語が話せなくても大丈夫？

クレア勤務時代、英語がろくに話せないにもかかわらず始まったアメリカ生活に、当初は大いに不安を感じていました。ところが、日常生活だけで言えば、話せなくても何とかなるもので、「頑張って英語を学ぼう」という渡米前の決意はあっという間に消えました。もちろん、仕事中には困ること、周囲に迷惑をかけることも多々あり、そんな中、同僚から無料の英語教室があると教えてもらって通い始めたのは、海外事務所の2年の任期も半ばを過ぎた頃でした。

### 「外国人」のための英語教室へ

お世話になったのは、公共図書館（NPO）が主催する教室です。アメリカでは公共図書館が本の貸出や文化的な事業だけでなく、地域住民の就業支援や起業支援、子供の学習支援、語学教室のような「外国人」支援まで、多岐にわたる事業を行っている例が各地で見られます。私が参加した英語教室も、英語が母語ではない人が、「（一定以上）休まないこと」のみを条件に誰でも無料で参加できるものでした。

教室は年に4シーズン開催され、申込時のレベルチェックで3段階にクラス分けされます。開催曜日や開始時間は数十か所ある会場（図書館の分館）によって違うので、自分が行きやすい教室を探することができます。私は職場の近くに平日夜のクラスがあったので、そこに申し込みました。

教室の生徒はさまざまなルーツ、背景をもつ「移民」、「外国人」です。母語はさまざまなので、生徒同士のコミュニケーションも大変でしたが、仕事以外で人付き合いがほぼなかった私には、クラスメイトとの交流は貴重な経験でした。また、世界中のさまざまな国・地域から

来た人々が暮らす「移民」の国アメリカでは、さまざまな問題がある一方、支援もあることを感じることができました。

現在の職場では、国際交流と多文化共生の事業を行っています。時々、自分が外国人として周囲にお世話になったことを思い出しながら、日々働いています。



課外活動に出かけ、クラスメイトやその家族と。



さまざまな機能を持つ公共図書館。写真は観光名所でもあるニューヨーク・パブリック・ライブラリー本館。

### プロフィール・ほか

2014年4月～2015年3月 クレア東京本部経済交流課  
2015年4月～2017年3月 クレアニューヨーク事務所  
2017年4月～ 現職